

製品名: GANP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11291**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	218kDa

抗原情報

遺伝子名	MCM3AP
別名	MCM3AP; GANP; KIAA0572; MAP80; 80 kDa MCM3-associated protein; Protein GANP
遺伝子 ID	8888.0
SwissProt ID	O60318
免疫原	抗血清はヒト GANP 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 1841-1890

背景

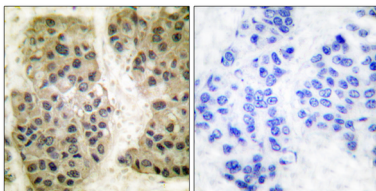
ミニ染色体維持タンパク質 3 (MCM3) は、DNA 複製の開始に必須の MCM タンパク質の 1 つです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は MCM3 結合タンパク質です。このタンパク質はリン酸化依存性 DNA プライマーゼ活性を持つことが報告されてお

り、抗原免疫誘導性胚中心において上方制御されていました。このタンパク質は、MCM3 をアセチル化し、DNA 複製に役割を果たすアセチルトランスフェラーゼであることが実証されています。MCM3 の核局在シグナルの変異誘発は、このタンパク質と MCM3 の結合に影響を与えることから、このタンパク質が MCM3 の核局在を促進する可能性も示唆されています。この遺伝子は、脳または神経組織で発現しています。軽度知的障害患者において、保存されたグルタミン酸の代わりに 915 番目のアミノ酸残基にリジンをコードする対立遺伝子変異体が同定されています。[RefSeq 提供、2014 年 1 月],機能:MCM3 の核局在経路に関与している可能性がある。類似性:SAC3 ファミリーに属する。サブユニット:MCM3 と相互作用する。、

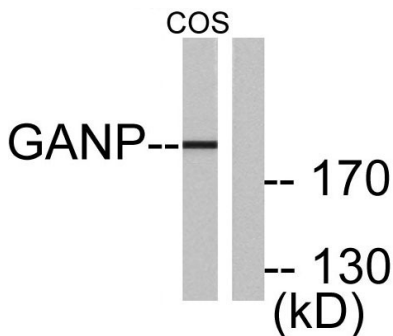
研究分野

タンパク質アセチル化

画像データ



GANP 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



GANP 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。